

# 日興中小型グロース・ファンド

設 定 日 : 2005年11月21日

信 託 期 間 : 無期限

決 算 日 : 原則11月20日

収 益 分 配 : 決算日毎

基 準 価 額 : 40,362円

純 資 産 総 額 : 109.52億円

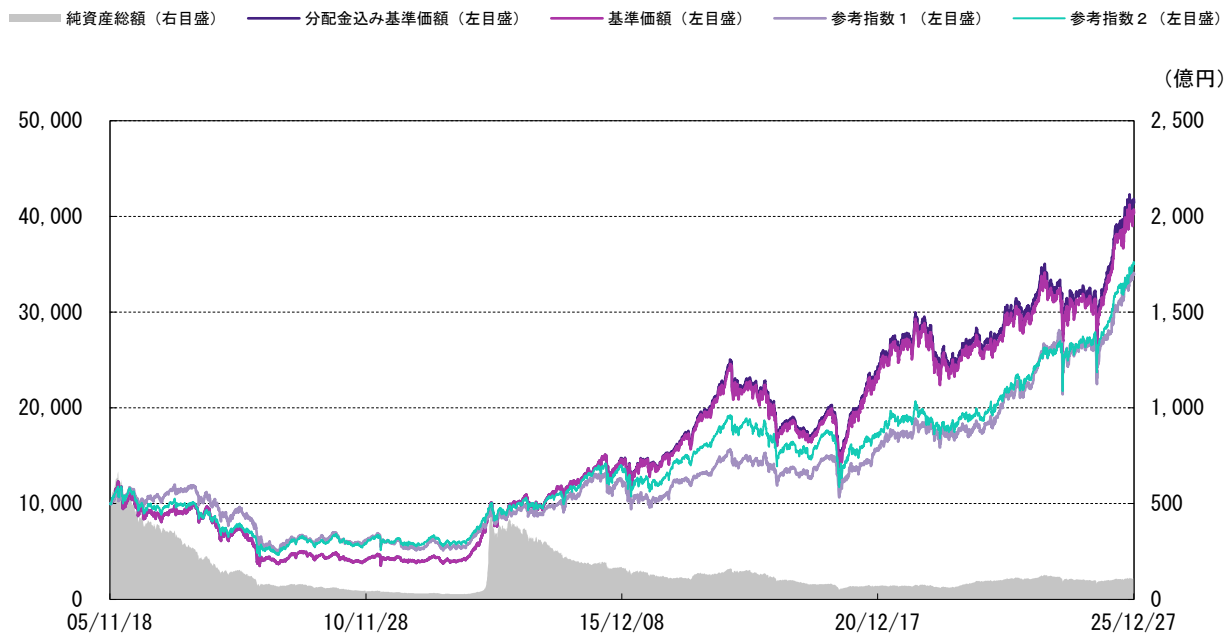
※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## 運 用 実 績

### <基準価額と純資産総額の推移>



※参考指数1は、「TOPIX（東証株価指数）配当込み」です。TOPIX（東証株価指数）に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

※参考指数2は、「ラッセル野村小型インデックス（配当込み）」です。同指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「NFR」）およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、NFRおよびFrank Russell Companyは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

※設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

### <基準価額の騰落率>

	1 カ月	3 カ月	6 カ月	1 年	3 年	設定来
当ファンド	-2.11%	5.66%	19.25%	26.57%	55.53%	314.33%
参考指数1	1.03%	8.82%	20.84%	25.46%	93.82%	239.58%
参考指数2	1.00%	7.26%	20.37%	27.97%	83.87%	250.39%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

### <分配金実績（税引前）>

21/11/22	22/11/21	23/11/20	24/11/20	25/11/20
100円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。

ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの内容

## &lt;資産構成比率&gt;

株式	94.9%
うち先物	0.0%
現金その他	5.1%

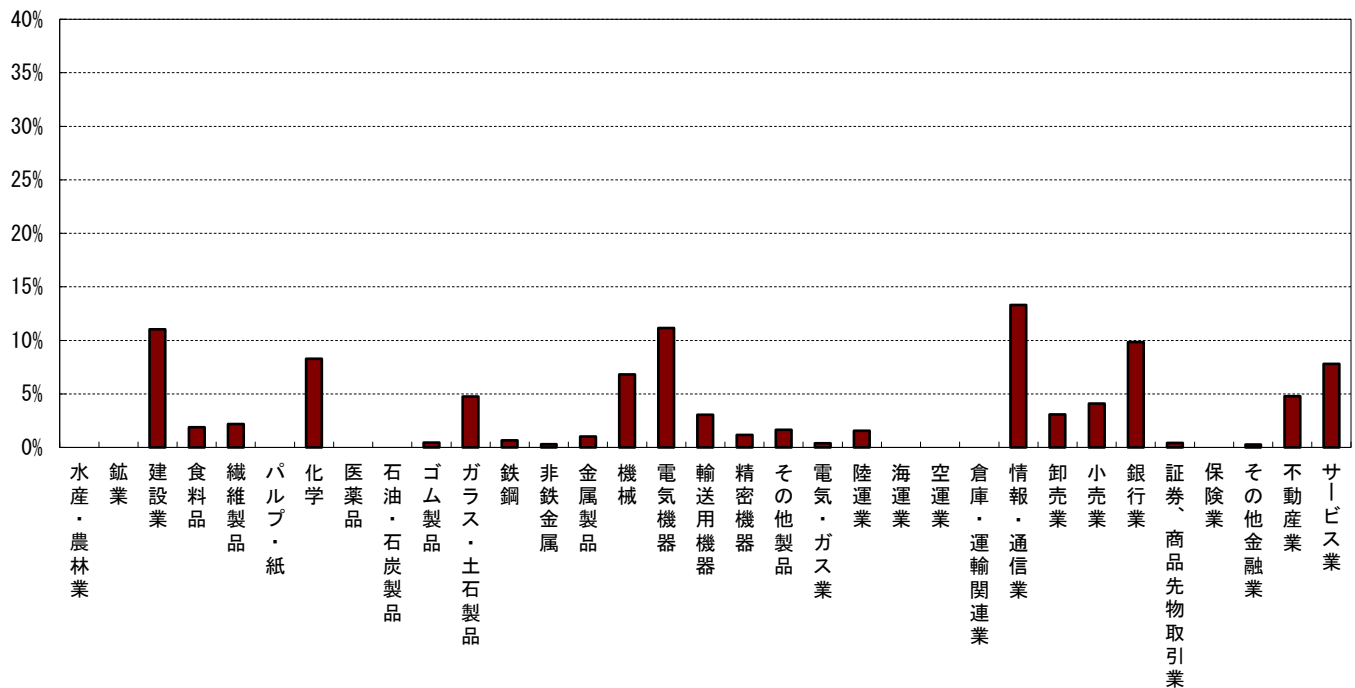
## &lt;組入上位10銘柄&gt; (銘柄数 126銘柄)

	銘柄	業種	比率
1	BuySell Technologies	卸売業	2.44%
2	日本アビオニクス	電気機器	2.04%
3	三井E&S	機械	2.03%
4	MARUWA	ガラス・土石製品	1.94%
5	メイコー	電気機器	1.66%
6	精工技研	電気機器	1.58%
7	イトーキ	その他製品	1.56%
8	東亜建設工業	建設業	1.55%
9	富士紡ホールディングス	繊維製品	1.51%
10	アズーム	不動産業	1.46%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

## &lt;業種別構成比&gt;



## &lt;市場別構成比率&gt;

ブライム	69.6%
スタンダード	13.5%
グロース	16.8%
その他	0.0%

## &lt;規模別構成比率&gt;

時価総額	比率
500億円未満	17.7%
500億円以上 1,000億円未満	17.6%
1,000億円以上 2,000億円未満	20.4%
2,000億円以上 3,000億円未満	14.8%
3,000億円以上	29.5%

※「資産構成比率」「組入上位10銘柄」の比率は純資産総額を100%として計算したものです。

※「業種別構成比」「市場別構成比率」「規模別構成比率」は組入銘柄の評価額の合計を100%として計算したものです。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎市場環境

12月の国内株式市場は、東証株価指数（T O P I X）が前月末比プラス0.90%、日経平均株価が同プラス0.17%となりました。日銀総裁の「利上げの是非を適切に判断したい」との発言を受けて日銀による利上げ期待が強まったことや、人工知能（A I）への過剰投資に対する警戒感から米国の関連株が一時売られたことなどが株価の重しとなった一方で、日銀が市場予想通り政策金利を引き上げたものの「利上げ幅が不十分」との見方から円安が進行したことや、東京都区部の消費者物価指数（C P I）が市場予想を下回ったこと、米国の経済指標が景気の底堅さを示す内容となったことや米国連邦準備制度理事会（F R B）が金融緩和の姿勢を示すなか、米国株式市場が上昇したことなどが株価の支援材料となり、国内株式市場は上昇しました。

東証33業種分類では、保険業、証券、商品先物取引業、石油・石炭製品などの21業種が上昇する一方、その他製品、電気・ガス業、鉱業などの12業種が下落しました。

国内新興市場は、東証スタンダード市場指数は前月末比プラス1.17%、東証グロース市場指数は前月末比マイナス3.70%、東証グロース市場250指数は前月末比マイナス3.48%となりました。

## ◎運用概況

当ファンドでは、今後の業績に不透明感のある銘柄や株価上昇により当面の上値余地が薄れた銘柄（機械、情報・通信業の一部など）の売却を行ないました。一方で、今後の業績改善に期待がもてる銘柄や株価水準が割安と考えられる銘柄（小売業、ガラス・土石製品の一部など）の買い付けを行ないました。以上のような運用の結果、月末の基準価額は前月末比マイナスとなりました。

## ◎今後の見通し

12月の中小型株式市場は、月初は日銀の利上げ観測による長期金利の上昇や、日銀の金融政策決定会合での政策金利の引き上げなどがあったものの、円安修正は限定的となり、また2026年も政策金利の引き上げが継続する見込みとなったことなどから、弱含みでの推移となりました。特に東証グロース市場は年間を通じて、T O P I Xや日経平均株価に対して低調な推移となりました。一方で、2026年後半にはT O P I X対象の見直しにおいて、東証グロース市場や東証スタンダード市場の一部も組み入れ候補となる見込みであることから、再評価が進む一年になると考えています。

依然として、世界経済の動向や金融政策の動向、地政学リスクなどの不安定要素が残り、今後も株価変動性の高い展開が続くことも予想されます。その中で、日本国内においてもA Iの活用やそれに向けた環境整備、また地政学的リスクを考慮した国内での工場建設などが大きな潮流となっています。また、社会インフラを中心に老朽化対策も急務となっています。新政権においては、A I・半導体、造船、量子、航空・宇宙、デジタル・サイバーセキュリティなどの17の戦略分野や危機管理投資などの公的支援等を計画しています。これらに伴う民間投資の増加も将来成長が期待できる領域と考えられます。

改めて国内成長企業に対する再評価の動きも見受けられており、引き続き特徴ある業界や個社のファンダメンタルズの変化、ウィズコロナなど新潮流を好機と捉えようとする企業などに注目しながら、投資候補を選定してまいります。

当ファンドでは、ニッチなビジネスに参入する新興企業や、ビジネスモデルの再構築などを進める再生企業の中から、業績モメンタム（売上・利益成長の変化率）の拡大が中長期的に見込まれると判断する銘柄を選別し、投資を行ないます。今後も、財務データ分析などの定量評価に加えて、投資対象企業に対する直接取材等の調査活動を通じて、中小型株の発掘を行なってまいります。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## フ ァ ン ド の 特 色

## ①わが国における中小型株式を投資対象とします。

わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）のうち、主として時価総額3,000億円\*未満の中小型株式を投資対象とします。

※有価証券届出書提出日現在のものであり、将来、変更する可能性があります。

## ②業績モメンタムのより顕著な拡大が見込まれると判断する銘柄群を抽出します。

主たる投資対象であるわが国の中小型株式のうち、ニッチなビジネスに参入する新興企業や、ビジネスモデルの再構築などを進める再生企業の中から、「業績モメンタム」（売上・利益成長の変化率）のより顕著な拡大が見込まれると判断する銘柄群を抽出します。

## ③中小型株式に焦点を当てた独自の調査・運用体制により、より株価の値上がりが期待できる銘柄の発掘に努めます。

財務データ分析などの定量評価に、中小型株式に焦点を当てた中小型株アナリストによる企業訪問を中心とした定性評価を加えることで、企業の「顕在化していない成長能力」を捉え、市場認識との乖離から株価の値上がりが期待される銘柄を厳選します。

●市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	無期限(2005年11月21日設定)
決算日	毎年11月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用があります。 ※益金不算入制度は適用されません。

## ■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

**購入時手数料** 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内  
※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

**換金手数料** ありません。

**信託財産留保額** 換金時の基準価額に対し0.3%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

**運用管理費用(信託報酬)** ファンドの日々の純資産総額に対し年率2.057%(税抜1.87%)

**その他の費用・手数料** 監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] <a href="http://www.amova-am.com">www.amova-am.com</a> [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

## 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高いと考えられます。

## 信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様に「日興中小型グロース・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券） （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社スマートプラス	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3031号	○	○		○
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○
P a y P a y 銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三菱UFJ e スマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○	○		
m o o m o o 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○		
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第185号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。